

受肉(じゅにく)

シリーズ～新約聖書入門～

2017/4/2

なんのために
神様は人間になられたのか

① 苦しみを味わうため

- 神様は人間の苦しみを知っていることを身をもって示された
 - イエス様は病人を憐れみ癒された
 - 人間の苦しみを無視しているのではない
- 苦しみを取り除くのではなく、一緒に苦しんでいる！
 - 「彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、多くの痛みを負い、病を知っている。」イザヤ53:3
 - 人間の苦しみの原因は、人間の罪である
 - 死刑囚とともに苦しまれた

なんのために
神様は人間になられたのか

② 真理を教えるため

- 神様はどういうお方であることを教えるため
 - 父親のような愛情豊かな方である
- 律法の意味を教えるため
 - 律法学者は律法の本当の意味を理解していなかった
- 「**神の国**」について教えるため
 - 「人の国」に暮らしていても「神の国」の住人として生きてゆく

なんのために
神様は人間になられたのか

③ 模範になるため

- 弟子たちと共に生活された
 - 24時間いっしょにすることで、弟子たちにすべてをお見せになった
 - 弟子たちは「イエス様のように」生きて行った
- 本物の愛を教えられた
 - 「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」ヨハネ15:13
 - 「言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。」ヨハネの手紙一3:18

神様は人間の間に
なんのために
なされたのか

④ 永遠の命を与えるため

- 人間の罪の身代わりとして神の裁きを受ける
 - 「キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。」I ペテロ3:18(新改訳)
- 罪赦された証拠として死から復活する
 - 「わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。」ローマ6:5
 - 「それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。」ヨハネ3:15

神様は人間の間に
なれたのか
なんのために

⑤ 人間を愛していることを伝えるため《最大目的！》

- 神様が私たちを愛しておられる“絶対的”証拠である
 - 「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。」ヨハネの手紙一4:10
- 愛は**実際の行動**によってのみ証明される

人間になることで



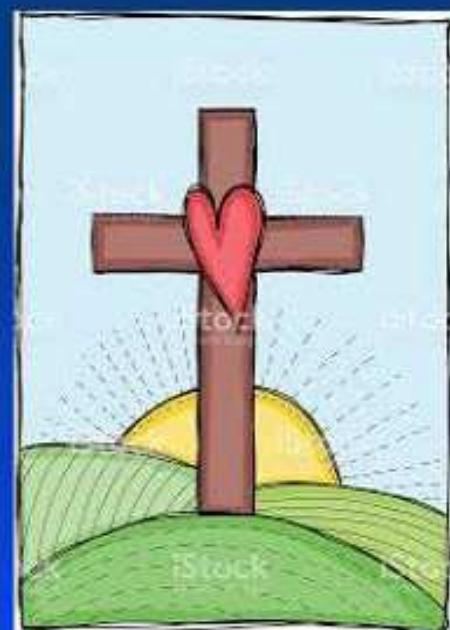
共に苦しむ

模範を示す

真理を教える

永遠の命を授ける

愛を実践する



人間になることで
何を失い、何を手に入れたか

失ったもの

- 全知全能（ぜんちぜんろう）
 - 全宇宙を一瞬で創造する力を捨て去り、「無力」になられた
- 永遠（えいえん）
 - 時間の外側におられた方が、時間の制約の中に入られた
- 偏在（へんざい）
 - 空間の外側におられた方が、空間の制約の中に入られた

人間になることで
何を失い、何を手に入れたか

手に入れたもの

- 限られた能力
 - 奇跡やいやしを行われたが、それは「信仰によって」可能になった
- 痛める体，苦しめる心
 - 私たちと同じように痛み，試みに遭われた
- 死ねる体
 - 「イエスは、このぶどう酒を受けると、『成し遂げられた』と言い、頭を垂れて息を引き取られた。」ヨハネ19:30

すべてをわたしのために

「わたしは、天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。わたしが与えるパンとは、世を生かすためのわたしの肉のことである。」

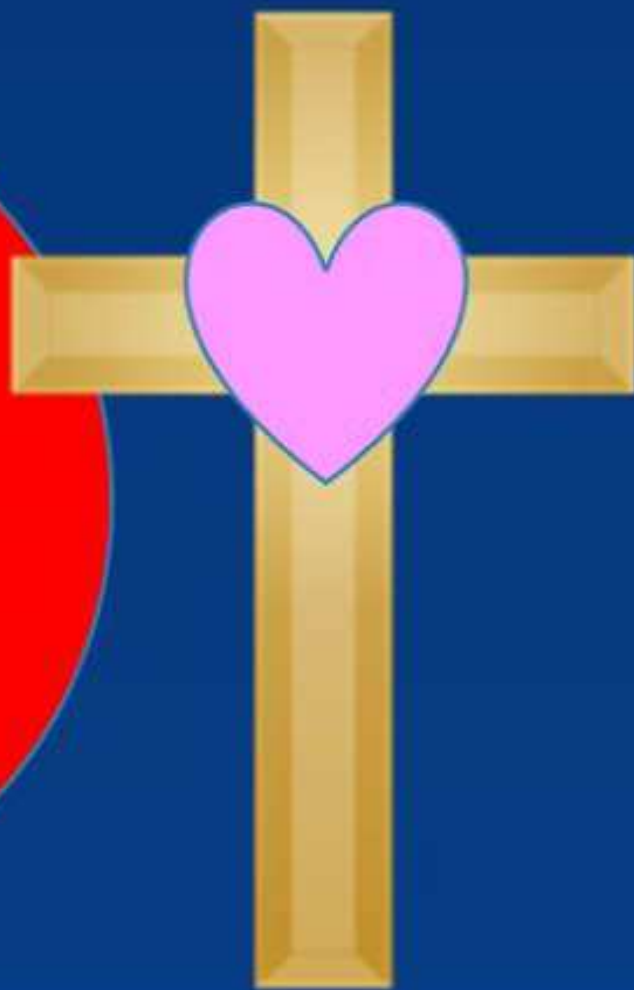
ヨハネ福音書6:51



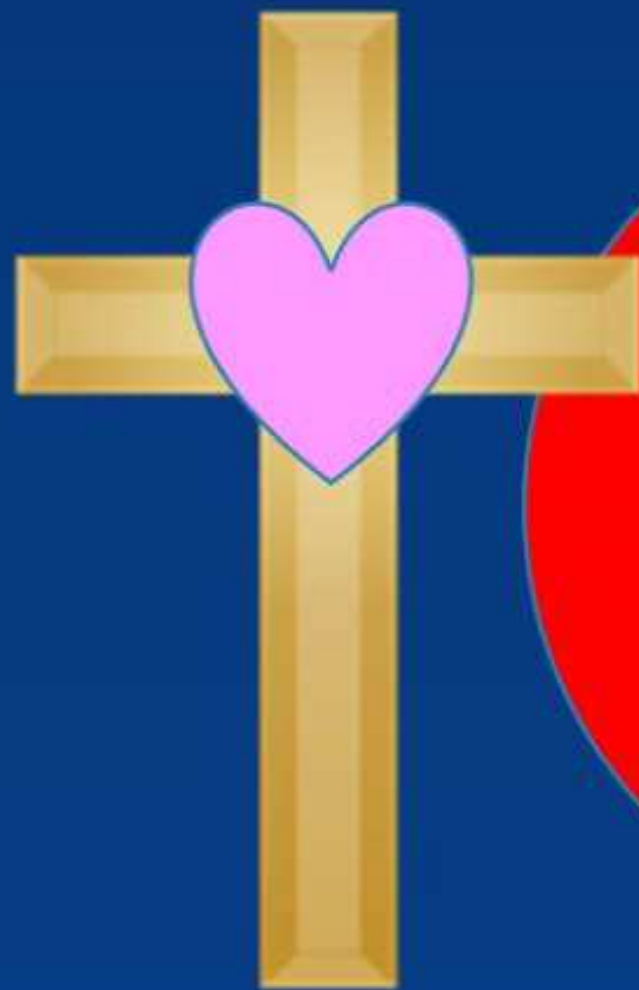
イエス
様

「この命は現れました。御父と共にあったが、わたしたちに現れたこの永遠の命を、わたしたちは見て、あなたがたに証しし、伝えるのです。」ヨハネの手紙一1:2

イエス
様



「この命は現れました。御父と共にあったが、わたしたちに現れたこの永遠の命を、わたしたちは見て、あなたがたに証しし、伝えるのです。」ヨハネの手紙一1:2



わたし

「この命は現れました。御父と共にあったが、わたしたちに現れたこの永遠の命を、わたしたちは見て、あなたがたに証しし、伝えるのです。」ヨハネの手紙一1:2